C-ENGINEは産と学の交流をとおして
イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコンソーシアムです

学生が身につけるべきトランスファラブルスキル R I S E

トランスファラブルスキルRISEは、研究者として自立するためのスキルセットであり、大学や企業など、どこにおいても有効に活用されます
これは研究を通じて培われ、再発見・意識されることで、今後のキャリアパスに活かすことができます

Research governance and organisation 研究遂行に関するスキル

R-1 安全、コンプライアンス意識および情報管理技術

- 健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が 理解できる
- 研究者としての情報管理、技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる

R-2 研究の基本的な進め方

- 研究の目的、背景を理解して、 課題設定を行い、研究を取り巻く諸事の要因に配慮しながら研究計画を立てることができる

R-3 資金管理・調達

- 研究を進める際、および、事業を行うにあたっての資金管理・調達の仕組み、実態の理解ができる

Intelligence and knowledge 知識・知的能力

I-1 理論的知識、情報収集力 数学的応用力 語学力・文章読解力

- 課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる
- 数理科学の知識をベースに数値解析できる

I-2 分析/統合力、論理的思考力 問題解決力

- 課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる

I-3 洞察力、探究心 議論展開力

- 自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、画期的／創造的な議論ができる

Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル

S-1 チームワーク力、他者との協働

- チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる
- 他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる

S-2 コミュニケーション能力

- 研究遂行にあたって研究室内外および異分野の関係者の理解を得ることができる
- 様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる

S-3 研究結果の社会への還元

- 研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる
- 社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考案・発案することができる
- グローバル展開の重要性が理解できる

Effectiveness 自己開発に係るスキル

E-1 研究への取り組み姿勢

- 強みと弱みを自覚して、研究に活かすことができる
- 熱意、持続力・忍耐力、責任感、主体性、専門家としての誠実さを持って行動できる

E-2 自己管理、時間管理

- 目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える
- ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる

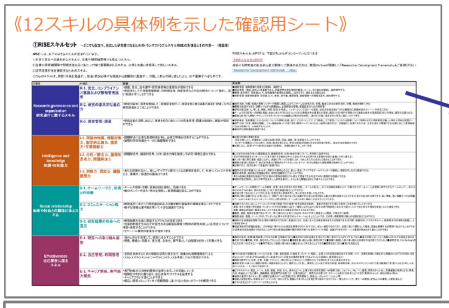
E-3 キャリア開発、専門能力開発

- 専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している
- 経験を分析的に振り返り、自己改革のサイクルを追求する
- キャリアプランを描くことができる
- 幅広い研究コミュニティ内で、信頼関係に基づく協力的なネットワークを構築する

RISEの各項目とその内容は、VitaeのResearcher Development Frameworkを参考に作成しました

一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）

《12スキルの具体例を示した確認用シート》



RISEシート（学内利用版）のサンプル

実物はExcelファイル

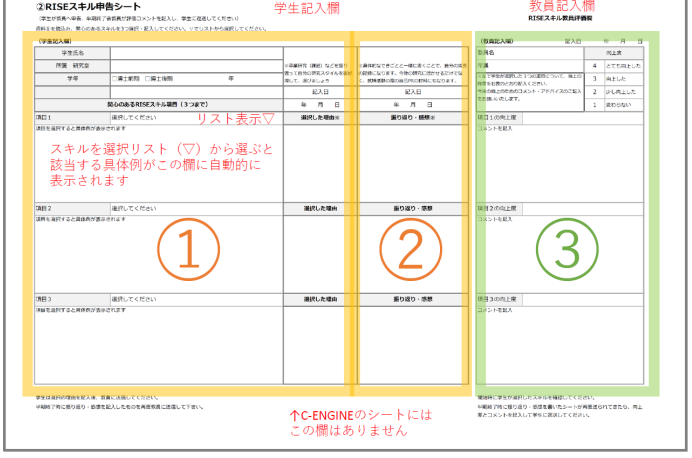
C-ENGINEのインターンシップ用のシートを改変

各スキルの具体例が示されている

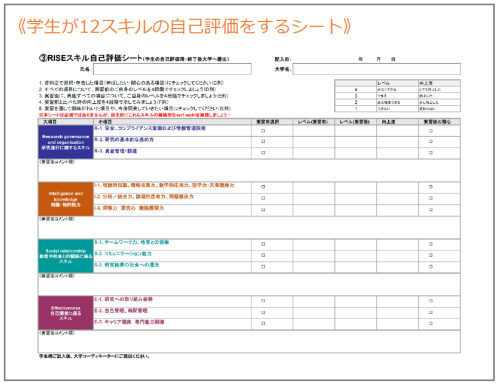
R-1. 安全、コンプライアンス意識および情報管理技術

- ■健康管理　健康管理の重要さを理解し、実践する
- ■安全管理　「安全」は何よりも重要である。所属部門の安全管理の精神、ルール、取り組みを理解し、絶対順守する
- ■倫理・法令順守　研究者として、研究倫理の重要性を理解し、法令を守り、責任ある行動をとる
- ■知財管理・秘密保持管理　研究者として、知財、著作権、情報管理、秘密保持への理解を深め、絶対順守する"

《学生が3つのスキルを選択し、教員と共有、コメントを記録するシート》



コメントシートの利用方法

①開始時に学生が3スキルを選択し教員へ
②終了時に学生が感想を書いて教員へ
③教員がコメントを記入し学生に返送

《学生が12スキルの自己評価をするシート》